

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	市民生活部
	課名	防災安全課
	係名	消防防災係
	記入者	電話(内線) 281

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	総合防災訓練開催事業	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ					
① 事業の区分	主要事業	(6) 事業主体	市	(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質 一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	24102 (総合計画掲載ページ 82 ページ)	会計区分	一般会計	財源区分	市単独
基本目標(政策)	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)	予算科目	款 9 項 1 目 5	予算書上の 事業名称	防災広場開催事業費
基本施策	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)				(予算書 152 ページに掲載)
施策	①防災対策の充実	(8) 事務分類	自治事務	根拠法令	災害対策基本法
施策内容	2防災訓練等の実施				
(5) 事業期間	開始 平成 19 年 4 月から 終了 年 月まで (カ年)				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
地域住民, 就学予定児童, 高齢者クラブ, 自主防災会, その他防災関係団体	防災訓練への参加を通じて, 市民の防災対策に関する意識と自主防災技術の普及向上を図り, 関係団体との連携強化に努める
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
大規模地震を想定した参加型の総合防災訓練 (避難誘導訓練, 広報通信訓練, 初期消火訓練, 救助救出訓練, 応急救護訓練他)	市民の防災意識が高まっていることから
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境, 市民ニーズ等)や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応	
実践的な訓練種目の導入と, 各地区の避難所及び施設管理者参加による地域防災意識の啓発	

3. 事業コスト

行政評価 実施計画		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映	
● 予算内訳		実績額(千円)	当初予算額(千円)	計画額・見込額(千円)			
事業内容		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	
(1) 事務事業費	総合防災訓練第9回防災広場	1,482					
	総合防災訓練第10回防災広場		1,589				
	総合防災訓練第11回防災広場						
	総合防災訓練第12回防災広場						
	総合防災訓練第13回防災広場						
	合計	1,482	1,589				
財源	国庫支出金(千円)						
	県支出金(千円)						
	地方債(千円)						
	その他特定財源(千円)						
	一般財源(千円)	1,482	1,589				
	合計(千円)	1,482	1,589				
補助・起債制度名							

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）					指標の名称	単位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）											
指標名	参加者数	目標値	人		1,750	2,000	2,000	2,000			
		実績(見込)値		1,500	1,500						
		目標値									
		実績(見込)値									
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）											
指標名	参加者数	目標値	人		2,000	2,000	2,000	2,000			
		実績(見込)値		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500			
		達成率		75.0 %	75.0 %						
		目標値									
		実績(見込)値									
		達成率	%	%							
5. 事業評価											
(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 平成27年度は、アクロス駐車場にて開催した											
(2) 項目別評価											
評価項目・客観的評価					理由						
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	地域の防災意識の高まる中、合同で行う訓練は必要である。							
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	市民の安全・安心を守る上で、市主体で実施することは妥当である。							
	手段の妥当性	A	妥当である	消防関係機関と地域の方々が訓練に参加してもらい、防災に対する共通認識を持つことは重要であり、手段としても妥当である。							
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	関係団体や、ボランティア団体に協力を仰ぎ訓練を実施しているので、コスト削減につながっている。							
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	市民全体に参加を呼び掛けているので、偏りはない。							
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	反省点を活かしながら、内容を見直しているが、参加者数に関してはそれほど増えていない。							
進捗度	事業の進捗	A	順調である	中止になることなく、毎年開催されている。							
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 今までは、地震を想定しての訓練であったが、豪雨災害を受けて水害等を想定しての訓練も必要となってくる。											
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ アクロスという立地上、水害に関する訓練については、内容の精査が必要となってくる。											
6. 事業の方向性判断											
評価主体		28年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠						
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。						
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			総合防災訓練は、年1回大規模災害を想定した参加型の総合防災訓練を実施している。昨年は関東・東北豪雨被害を受けたこともあり、アクロス駐車場への会場変更も考慮しながら、水害等を想定しての訓練も含め訓練内容の検討が必要である。						
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。						